



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月27日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東
 コード番号 4043 URL <https://www.tokuyama.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 中野 哲也 (TEL) 03-5207-2552
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	84,886	1.0	5,142	0.7	5,653	△20.5	4,304	△4.0
2023年3月期第1四半期	84,017	24.5	5,108	△31.9	7,109	△10.1	4,482	△9.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 7,046百万円(24.3%) 2023年3月期第1四半期 5,670百万円(20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	59.82	—
2023年3月期第1四半期	62.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	476,381	244,005	48.9	3,239.04
2023年3月期	478,342	241,602	48.0	3,189.01

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 233,051百万円 2023年3月期 229,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	8.0	30,000	109.2	30,000	102.9	22,000	134.9	305.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	72,088,327株	2023年3月期	72,088,327株
2024年3月期1Q	137,545株	2023年3月期	137,882株
2024年3月期1Q	71,950,340株	2023年3月期1Q	71,951,164株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2024年3月期 第1四半期連結累計期間	84,886	5,142	5,653	4,304
2023年3月期 第1四半期連結累計期間	84,017	5,108	7,109	4,482
増減率	1.0%	0.7%	△20.5%	△4.0%

(売上高)

セメントや化学品等の販売価格上昇や、ライフサイエンス関連製品の販売が堅調に推移したこと等により、前年同期より8億68百万円増加し、848億86百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(売上原価)

在庫影響による原燃料コストの増加等により、前年同期より10億53百万円増加し、609億54百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

輸出数量が低調に推移したことによる物流費の減少等により、前年同期より2億18百万円減少し、187億89百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

(営業利益)

セメントや化学品等の販売価格上昇や、ライフサイエンス関連製品の販売が堅調に推移したこと等により、前年同期より34百万円増加し、51億42百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、為替差益及び持分法による投資利益の減少等により、前年同期より14億89百万円悪化しました。

以上の結果、経常利益は前年同期より14億55百万円減少し、56億53百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期より6億47百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より8億7百万円減少し、62億63百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より2億43百万円減少し、42億6百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より1億78百万円減少し、43億4百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

(セグメント別の状況)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を見直し、「電子材料」から「電子先端材料」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。以下の前年同四半期比較については、当該名称変更を反映しております。

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
2024年3月期 第1四半期 連結累計期間	28,639	16,487	18,352	10,170	2,744	11,165	87,559	△2,673	84,886
2023年3月期 第1四半期 連結累計期間	31,649	14,506	20,479	8,364	2,551	9,690	87,242	△3,224	84,017
増減率	△9.5%	13.7%	△10.4%	21.6%	7.6%	15.2%	0.4%	—	1.0%

営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
2024年3月期 第1四半期 連結累計期間	2,093	456	744	2,148	△337	1,019	6,125	△982	5,142
2023年3月期 第1四半期 連結累計期間	4,252	△325	1,393	1,380	△182	522	7,041	△1,932	5,108
増減率	△50.8%	—%	△46.6%	55.6%	—%	95.2%	△13.0%	—	0.7%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益又は営業損失(△)にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、販売数量は減少したものの、国内の販売価格修正を進めたことにより、増益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、海外市況が低迷したことにより、減益となりました。

ソーダ灰及び塩化カルシウムは、販売数量は減少したものの、販売価格修正を進めたことにより、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は286億39百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益は20億93百万円(前年同期比50.8%減)で減収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内出荷は前年同期並みであり、販売価格は正を進めたことにより、損益が改善しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は164億87百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は4億56百万円(前年同期は営業損失3億25百万円)となりました。

(電子先端材料セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンは、半導体市場の減速により販売数量が減少したものの、販売価格修正を進めたため、前年同期並みの業績となりました。

ICケミカルは、半導体市場の減速により販売数量が減少し、減益となりました。

乾式シリカは、国内は前年同期並みに推移したものの、海外は中国の景気低迷により販売数量が減少し、減益となりました。

放熱材は、半導体市場の減速により販売数量が減少したものの、販売価格修正を進めたことにより、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は183億52百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は7億44百万円（前年同期比46.6%減）で減収減益となりました。

（ライフサイエンスセグメント）

歯科器材は、海外向けを中心に出荷が増加したこと等により、増益となりました。

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が増加したことにより、増益となりました。

プラスチックレンズ関連材料は、メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売が堅調に推移し、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は101億70百万円（前年同期比21.6%増）、営業利益は21億48百万円（前年同期比55.6%増）で増収増益となりました。

（環境事業セグメント）

イオン交換膜は、出荷が増加したことにより、増益となりました。

樹脂サッシは、販売価格修正を進めたものの、製造コストの増加や販売数量の減少により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は27億44百万円（前年同期比7.6%増）、営業損失は3億37百万円（前年同期は営業損失1億82百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,763億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億61百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産が51億33百万円、現金及び預金が51億12百万円、商品及び製品が42億67百万円増加した一方、売掛金が116億74百万円、原材料及び貯蔵品が49億27百万円減少したことによるものです。

負債は2,323億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億63百万円減少しました。主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金が44億31百万円、賞与引当金が13億15百万円減少したことによるものです。

純資産は2,440億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億2百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が16億63百万円、為替換算調整勘定が15億95百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、石炭価格の変動、及び半導体市場や化学品の海外市況の動向等、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移しております。そのため、2023年4月28日に公表した業績予想を据え置きます。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,080	73,192
受取手形	8,672	8,177
売掛金	83,388	71,714
リース債権	11	11
商品及び製品	24,111	28,378
仕掛品	19,902	19,229
原材料及び貯蔵品	37,310	32,382
その他	12,282	13,340
貸倒引当金	△71	△70
流動資産合計	253,689	246,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	116,841	116,820
減価償却累計額	△80,555	△80,451
建物及び構築物(純額)	36,285	36,368
機械装置及び運搬具	487,746	485,639
減価償却累計額	△430,082	△428,480
機械装置及び運搬具(純額)	57,663	57,158
工具、器具及び備品	24,395	25,142
減価償却累計額	△21,125	△21,420
工具、器具及び備品(純額)	3,269	3,721
土地	33,033	33,117
リース資産	9,788	10,113
減価償却累計額	△4,124	△4,307
リース資産(純額)	5,664	5,806
建設仮勘定	19,419	24,296
有形固定資産合計	155,336	160,469
無形固定資産		
のれん	349	313
リース資産	17	30
その他	3,098	3,114
無形固定資産合計	3,465	3,458
投資その他の資産		
投資有価証券	29,499	30,002
長期貸付金	2,185	2,115
繰延税金資産	19,416	19,501
退職給付に係る資産	10,023	9,895
その他	4,777	4,636
投資損失引当金	△7	△7
貸倒引当金	△44	△48
投資その他の資産合計	65,850	66,096
固定資産合計	224,653	230,024
資産合計	478,342	476,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,822	45,390
短期借入金	2,491	3,104
1年内返済予定の長期借入金	1,407	1,585
リース債務	1,196	1,212
未払法人税等	1,231	1,164
賞与引当金	2,768	1,452
修繕引当金	3,922	4,238
解体撤去引当金	519	849
製品保証引当金	72	43
損害賠償損失引当金	129	20
環境対策引当金	5	3
災害損失引当金	15	—
契約損失引当金	469	203
資産除去債務	63	63
その他	24,129	23,056
流動負債合計	88,244	82,389
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	118,333	119,588
リース債務	4,019	4,134
繰延税金負債	228	243
役員退職慰労引当金	197	164
株式給付引当金	37	50
修繕引当金	1,513	1,993
解体撤去引当金	631	301
製品補償損失引当金	48	37
環境対策引当金	90	81
退職給付に係る負債	2,113	2,104
資産除去債務	11	13
その他	6,269	6,272
固定負債合計	148,495	149,986
負債合計	236,739	232,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	23,443	22,959
利益剰余金	184,852	186,515
自己株式	△414	△413
株主資本合計	217,880	219,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,053	4,993
繰延ヘッジ損益	△3	△1
為替換算調整勘定	5,630	7,225
退職給付に係る調整累計額	1,889	1,771
その他の包括利益累計額合計	11,569	13,989
非支配株主持分	12,151	10,953
純資産合計	241,602	244,005
負債純資産合計	478,342	476,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	84,017	84,886
売上原価	59,900	60,954
売上総利益	24,116	23,931
販売費及び一般管理費		
販売費	11,981	11,322
一般管理費	7,026	7,466
販売費及び一般管理費合計	19,008	18,789
営業利益	5,108	5,142
営業外収益		
受取利息	16	46
受取配当金	356	336
持分法による投資利益	583	262
為替差益	1,210	401
その他	1,316	829
営業外収益合計	3,484	1,877
営業外費用		
支払利息	357	420
総合福祉団体定期保険料	183	192
その他	941	752
営業外費用合計	1,483	1,366
経常利益	7,109	5,653
特別利益		
固定資産売却益	35	3
投資有価証券売却益	—	609
補助金収入	40	47
債務免除益	19	—
保険差益	1	—
特別利益合計	97	660
特別損失		
固定資産売却損	—	1
減損損失	8	—
災害による損失	3	2
固定資産圧縮損	26	—
固定資産処分損	97	45
特別損失合計	135	50
税金等調整前四半期純利益	7,070	6,263
法人税等	2,620	2,056
四半期純利益	4,450	4,206
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	△97
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,482	4,304

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,450	4,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△869	940
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	2,040	2,080
退職給付に係る調整額	△57	△117
持分法適用会社に対する持分相当額	102	△65
その他の包括利益合計	1,220	2,839
四半期包括利益	5,670	7,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,526	6,735
非支配株主に係る四半期包括利益	144	310

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法を採用してまいりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更は、中期経営計画2025に基づく事業ポートフォリオ転換に伴う設備投資額が近年増加していることを契機に、改めて減価償却方法を検討した結果、成長事業において国内外の市場へ積極展開するために必要な供給体制を構築する等の設備投資や現有設備に対する環境負荷を最小化するためのプロセス改善・省エネ・設備更新等の設備投資は、長期にわたり安定的に稼働することが見込まれることから定額法により取得原価を耐用年数にわたって均等配分することが、経営実態をより正しく反映することになると判断したものです。

この結果、従来の方によった場合と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益は543百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は550百万円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	31,574	14,270	20,346	8,361	2,534	6,930	84,017	—	84,017
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	75	235	133	3	16	2,760	3,224	△3,224	—
計	31,649	14,506	20,479	8,364	2,551	9,690	87,242	△3,224	84,017
セグメント利益 又は損失(△)	4,252	△325	1,393	1,380	△182	522	7,041	△1,932	5,108

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	28,519	16,223	18,251	10,163	2,711	9,016	84,886	—	84,886
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	119	264	100	6	33	2,148	2,673	△2,673	—
計	28,639	16,487	18,352	10,170	2,744	11,165	87,559	△2,673	84,886
セグメント利益 又は損失 (△)	2,093	456	744	2,148	△337	1,019	6,125	△982	5,142

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を見直し、「電子材料」から「電子先端材料」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

当該変更により、従来の方によった場合と比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、「化成品」において147百万円、「セメント」において165百万円、「電子先端材料」において78百万円、「ライフサイエンス」において27百万円、「環境事業」において49百万円、「その他」において47百万円それぞれ増加しております。全社費用を加味したセグメント利益の増加額合計は543百万円です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。